

立志だより



立志・自主・勤勉

与那原町立与那原中学校
校長 垣花英正

避難訓練

11月5日（金）、地震・津波に対する避難訓練が行われました。

緊急時に自らの命を守るという危機管理能力を養うことと、避難場所を確認することが目的です。

地震が発生したことが放送されると、全生徒、職員はまず机の下に隠れ、安全を確保します。しばらくして津波が発生したことが伝えられると避難を始めます。今回の訓練では、実際に避難場所の阿知利団地まで移動するのは一年生だけです。

（2, 3年生は1年生の時に移動訓練済みのため）

一年生は、事前学習の通り、「押さない！速やかに！ふざけない！」を守り、整然と避難場所へ移動しました。移動場所でも静かに待ち、人員報告が済んで教師の講評等も静かに聞くことができました。引率した教師の予想を超えた大きな成果のある避難訓練でした。

生徒の感想を紹介します。

1年3組 兼島 美帆さん

今回の避難訓練では、速やかに行動して、一言も喋らずに避難場所まで移動することができました。また、集合場所でも静かに話を聞いたのでよかったです。それから、本当に地震が起こった時は、あせったり、喋ったりしてしまうかもしれないので、今回の訓練のことは忘れないようにしたいです。



1年5組

古堅 琴羽さん

今回の避難訓練で、どこを通過して避難すればいいのか確認することができました。また、喋らずに先生の指示や話をしっかり聞くことを意識して避難できました。本当に津波が起こったら、今回のように落ち着き、放送をしっかりと聞いて避難できるようにしたいです。もしもの時のために備えることは大切なんだと、改めて感じました。



芸術鑑賞

11月16日（火）芸術鑑賞会を行いました。今年度は音楽鑑賞で、コロナ対策として学年毎の鑑賞です。出演者は、PPP（パーカッションパフォーマンスプレイヤーズ）です。PPPは打楽器のみのパフォーマンス集団で、プロ野球やBリーグでの演奏、さらには紅白歌合戦でドリカムのバックで演奏したり、テレビ「世界の果てまでイッテQ」にも出演したりする有名な方々です。

演奏が始まるとテンポの良いパフォーマンスで会場の生徒達を引き込みました。中には、楽器を使わず体をたたくだけで演奏や、楽器「ドレミパイプ」の体験コーナーもあり、あっという間の50分でした。

生徒の感想を紹介します。

3年1組 青池 梨花和さん

私は今日のPPPさんの演奏を聴いて、打楽器だけでもこんなに楽しく演奏することができるんだと感じました。私も吹奏楽部で打楽器を担当していますが、PPPさん達のように笑顔で演奏することが苦手で、自分が思うように感情を出すことができないのですが、今日の演奏を聴いて、自分も将来PPPさん達のようになりたいと思いました。

また、コロナ禍で演奏する機会や演奏を聴く機会が減ってしまっていて残念な気持ちになることが多かったのですが、PPPさんの素敵な演奏を聴くことができ嬉しかったです。

私も将来、音楽に関係する仕事をしたいと思っています。周りの人を笑顔にさせたり、楽しんでもらえるような演奏家になりたいと思いました。

PPPさんを目指して、将来たくさんの人から応援されるようなパーカッションプレイヤーになれるように頑張りたいです。

